

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	老人福祉施設管理運営事業（備前）		コード	担当課係	福祉事務所	高齢者福祉係
			02-01-04-04	担当者	角南文字	
事業実施期間	昭和58年～		電話	64-1827		
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり				
	中項目	やさしさのあふれるまちづくり				
	小項目	高齢者福祉				
	施策	生活支援サービスの充実				

事業について	
目的	施設を利用する高齢者により健康で社会参加をする場を提供することを目的とする。
対象（誰のために）	福祉サービスを必要とするもの。
内容	備前市養護老人ホーム「蕃山荘」、特別養護老人ホーム「大ケ池荘」、備前市老人福祉センター、備前市老人福祉センター、備前市福祉センター、備前市デイサービスセンター「蕃山荘」、「大ケ池荘」の委託経営。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など（単位）	回数など（単位）	回数など（単位）
デイ利用率	88 %		
デイ利用人数	10,147 人		
養護入所者	50 人		
特養入所者	50 人		
老人福祉センター利用者	2,366 人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	9,453	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,980	受益者負担	16	人件費		受益者負担	
	合計	11,433	一般財源等	11,417	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.20	人		人
結果指標名	デイ利用率			
結果指標量	88			
単位	%			
対前年比	—		0.00%	
事業費	396,000	円		円
単位当たりコスト①	4,500	円		円

結果指標名	デイ利用人数			
結果指標量	10,147			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費	396,000	円		円
単位当たりコスト②	39	円		円

事業の成果	17年度		
成果指標名	利用者満足率	式又は説明	満足者数/デイ利用者数
成果指標量	88		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	90	到達目標年度	18

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	地域福祉をリードする施設であり、今後も地域に根ざした施設サービスの提供を行なう必要がある。高齢化の進展に伴い、利用者の増加が見込まれる。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	「大ケ池荘」と「蕃山荘」の2施設は、事業運営のより効率化を図り、利用者ニーズの対応や職員との相互補完等を行えるよう、内部で部署の統合や協力をを行い、効率的な施設運営を行なっている。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	施設スタッフによる、利用者に対するサービス意識の向上や施設サービス提供時間の延長など利用者のニーズを意識した利用者本位のサービス提供を行っている。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	評価区分
利用人数が年々増加しているが、施設運営委託先である備前市社会福祉事業団が実施する満足度調査などをもとに市民ニーズに即応していかなければならない。他施設との競合もあり、「蕃山荘」は利用率が若干低いが、デイ全体では収支はプラスになっている。	<A~E> B

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	90	結果指標量②	10,160
目標値	結果指標量	90	

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
	効率性	定数に余裕のある日の利用促進	18年度	収益増

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。